



伊藤俊幸 いたうとしゆき

防衛大学にて組織論と出会い、海上自衛隊海将を最後に退官。リーダーシップ論、実体験・法理論などに基づく安全保障論を伝える活動に従事。現在金沢工業大学虎ノ門大学大学院教授。日本安全保障・危機管理学会理事、全国防衛協会連合会常任理事などを務める。現在、TV、ラジオなど多数出演中

元海上自衛隊海将 伊藤俊幸に学ぶ

緊迫状況が続く米中関係

日本は今後両国とどう向き合うべきか
軍事 / 政治から見た
国際安全保障

昨今、米中関係において緊迫した状況が続いていますが、私は、米中軍事衝突は近い将来には起きないと考えています。なぜなら、現時点でアメリカを圧倒するような軍事力は中国にはないからです。インド太平洋軍司令官の上院での発言も、予算獲得のための意味合いが大きいと判断できます。したがって、現時点は、中国が先に仕掛けた超限戦に対し、アメリカは経済安全保障によるカウンターをあて、中国の国際的影響力をそぐこと(先端技術や半導体を中国から買わなくていいようにする)に努力を傾注しているのではないのでしょうか。

このように、マスコミによる報道とはひと味違う分析を通して、両国に対する日本の向き合い方についてわかりやすくお伝えします。

講演依頼のお問い合わせ:株式会社SHOEI

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18番16号 日本生命新橋ビル3階

TEL:03-5501-1122 MAIL:info@scg-inc.jp